

市民から活発な質問や意見 空き家条例について意見を聴く会

空き家の活用や、老朽化した危険な空き家の処理を促進しようと、市議会では「空き家対策条例」を議員提案で策定しようと取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、市議会はこの間、市民プラザや各区コミュニティプラザなど、市内6箇所ですべて「空き家対策条例素案について意見を聴く会」を開催しました。

このうち、板倉区では、「前所有者が売却し、その後不動産業者が倒産して、所有者不明の空き家があるが、所有者の調査は可能か」「倒壊寸前の空き家を解体しようとしたら、税制上の問題があった。今後どうなるのか。また、解体費用の助成制度はどうなるのか」といった質問が出されました。

また、浦川原区では、「所有者が言い訳できないような状態で(きめ細かく)取り組んでほしい」「学生さんのなかには住みたいけれど、金のない人もいる。市がお金を出し、家賃を回収する対策ができないか」「壊せと言われてもお金がかかりすぎる。条例で決められても、お手上げになってしまう」といった意見や、「認知症になって施設に入っている人に対してはどうするのか」「平場と中山間地では違う。地域を考えた条例づくりができないか」などの質問が出されました。

浦川原区にて



日本共産党上越市議員団ニュース

No.432 2014年10月26日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

「集団的自衛権」はアメリカに協力するシステム 市民500人が集う中で、(元外交官)孫崎享氏が喝破



参加者全員で「集団的自衛権NO!」を掲げ、集会アピールを採択



講演する孫崎氏

主催者代表の馬場弁護士

18日、ユートピアくびき希望館を会場に行われた「立憲主義と憲法9条を守る新潟県民の集い」には、市内外から約500人が集い、「憲法を破壊する暴挙・暴走を許さない闘いに大きな一歩を踏み出す」として集会アピールを採択しました。

アピール採択に先立つ講演は、元外交官の孫崎享氏。「安倍外交の危険性」と題する講演では、「集団的自衛権の行使で日本を守ると言

いますが、日本を守ることとは関係ありません。アメリカに協力するシステムです」「2年前の衆院選での自民党の公約を見てみましょう。『消費税は全額社会保障に使います』とありますが、守られていませんね」「大橋巨泉を知っていますか。巨泉の話と安倍首相の話、みなさんはどちらの話を信じますか」といった、実にわかりやすい話で、聴衆を魅了しました。

集団的自衛権では、「自衛権」ということから、各国の持つ自己防衛権の一種ではないかと考えがちですが、旧ソ連によるハンガリー侵攻やアメリカによるベトナム戦争などで使われた理屈であり、自己防衛とは無関係であることを喝破しました。

立憲主義と憲法9条を守る新潟県民の集い

脇野田駅が移設・開業

新幹線上越妙高駅との接続ができるよう、信越線とともに西側に移設する工事を行っていた脇野田駅が完成し、19日の始発電車から利用が開始されました。この移設工事は、市費約40億円を投じて、2年がかりで行われたものです。

この日は、「移設開業記念式典」も行われ、泉田知事なども出席しました。式典では、アトラクションとして、大和保育園の園児が元気な遊戯を披露しました。

